

平成19年11月6日

横浜市立旭中学校

校長 佐々木 早苗

麻疹（はしか）に注意しましょう！

10月に入ってから、旭区内で小、中、高校生が麻疹に罹患したという報告が福祉保健課（区役所内）にあるようです。流行の兆しが見られるため、集団感染を防ぐためにも、ご家庭で、次のことに十分注意をお願いします。

家庭での注意事項は

- 1、麻疹の発病初期には発疹はなく、麻疹と診断がつきにくいこともあるため、発熱がみられた方については、登園・登校・勤務等を控え、速やかに受診することが大切です。（あらかじめ、医療機関に症状等を伝えて、指示を受けます。）
- 2、麻疹と診断された場合は、学校、幼稚園・保育園、職場に連絡しましょう。登校、登園、通勤は治癒して医師の許可があるまで控え、医療機関への通院以外は、外出しないようにしましょう。
- 3、麻疹の定期接種対象のお子さんで、まだワクチン接種を受けていない方は、早めに接種を受けましょう。
- 4、定期接種の対象外の方で、麻疹ワクチン接種を受けておらず、麻疹にかかったことのない方は、任意接種として、接種を受けられます（自費）。かかりつけ医に相談しましょう。

麻疹は・・・

空気中の麻疹ウイルスを吸い込むことによる感染（空気感染）や、咳などのしぶきによる飛沫感染、接触感染でおこります。感染力が大変強い病気です。潜伏期間は10～14日で、発疹が出る4日前くらいから、他の人にうつります。

初めは、鼻水やせき、38℃位の発熱など風邪のような症状が出ます。目やにが出たり、目が赤くなることがあります。口の中のほほの内側の粘膜に白い斑点が出ます。3～5日後に、赤い発疹が出ます。耳の後、首、顔から始まり、全身に広がります。熱も高くなります。発熱は1週間くらい続きます。発疹は、茶色くなってしばらく跡が残ります。

中耳炎、肺炎、脳炎などの合併症をおこし、重症になる場合があります。

麻疹は、学校保健法上は、第二種の学校伝染病に分類され、解熱して後3日を経過するまで、出席停止の対象となっています。

予防方法は？

予防には予防接種が重要です。予防接種は年齢により、接種方法等が異なりますので、御確認ください。

1 定期予防接種対象者の場合

(1) 接種対象

第1期：1歳～2歳未満

第2期：小学校入学1年前の4月1日～入学する年の3月31日

(2) 接種費用

上記接種対象であれば無料

(3) 接種方法

麻しん風しん混合ワクチンを1回接種

※特に接種を希望する方には、麻しん及び風しん単独ワクチンを接種

※麻しん又は風しんにかかったことのある方は、かかっていない単独ワクチンを接種

2 定期予防接種の対象外の場合

上記の定期予防接種の対象外で接種を受ける場合は、任意接種となり、接種費用も自己負担となります。

(1) 接種対象

上記の定期予防接種対象年齢に該当せず、接種を希望する方

(2) 接種費用

各医療機関で費用が異なりますので、事前に御確認ください。

(3) 接種方法

※麻しんワクチン又は麻しん風しん混合ワクチンを接種

※接種を希望される際は、複数の医療機関にお問い合わせいただき、ワクチンの在庫状況を御確認いただいたうえで、接種を受けてください。

◆参考ホームページ

1 横浜市の麻しん発生状況（横浜市衛生研究所ホームページ）

感染症発生状況 http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/infection_inf/report.html

http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/infection_inf/measles-kyukou.html

横浜市感染症臨時情報

http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/infection_inf/2007nen/measles-sokuhou.pdf

麻しんについて http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/infection_inf/measle1.htm

2 予防接種の話<麻しん>（国立感染症研究所感染症情報センター）

<http://idsc.nih.go.jp/vaccine/b-measles.html>

◆お問い合わせ先

1 旭区福祉保健センター福祉保健課健康づくり係

電話 954-6146 FAX 953-7713

2 横浜市健康福祉局健康安全部健康安全課

電話 671-4190 FAX 664-7296

※市内医療機関の麻しん予防接種の実施については、直接、医療機関にお問い合わせください。